

文部科学省

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告について

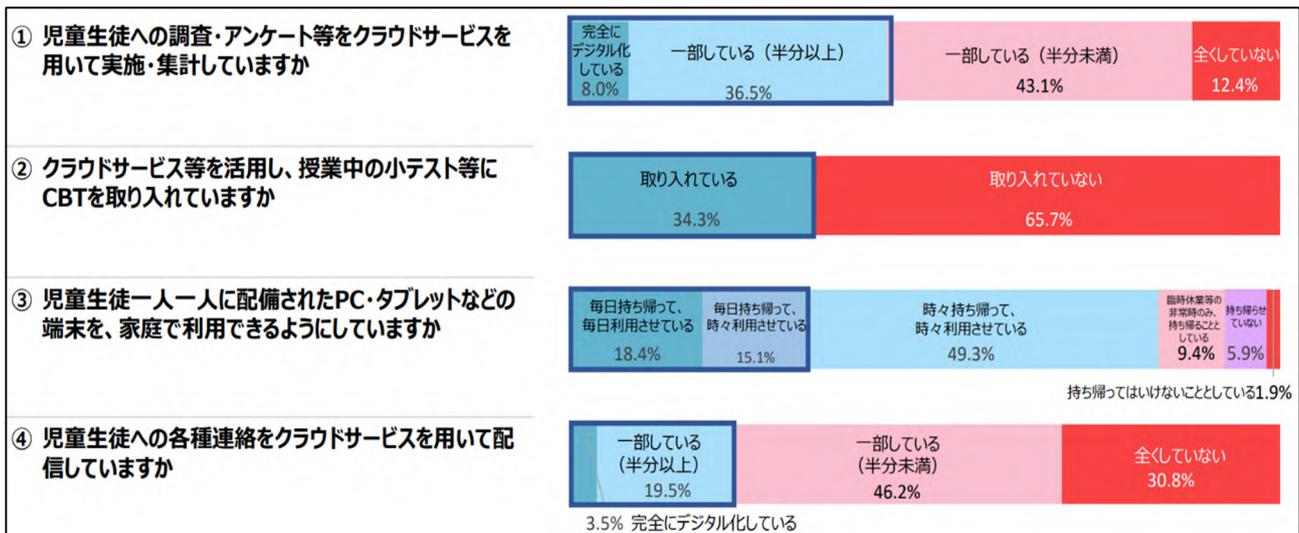
文部科学省は令和 5 年 12 月 27 日に、「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」に基づく自己点検結果について公表しました。これは、公立小中学校の教職員や設置者に対して行った校務 DX 化における自己点検の結果です。下記のグラフは、「教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化」の結果を一部抜粋したものです。

この結果を見ると、児童生徒に一人一台端末は整備されましたが、クラウドサービス等の活用は、まだ十分ではないようです。児童生徒への調査やアンケートでクラウドツール（例：フォーム）を活用することで、印刷コストや印刷・配布・回収・集計に掛かる時間も省け、業務が効率化されていきます。

この他にも、「教員と保護者間の連絡のデジタル化」や「学校内の連絡のデジタル化」の結果等も載っています。一度に全てのことを行うのは難しいですが、各学校の実態に応じて、できることから校務をデジタル化し、業務改善を図っていきましょう。



文部科学省
ウェブサイト
「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告について



出典) 文部科学省 「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告について (通知)

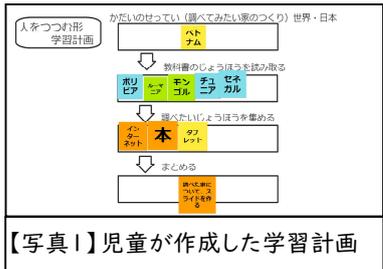
学習教材 (micro:bit) の貸出について

M ナビ新聞 17 号でお知らせしましたが、本センターでは、県内のプログラミング教育推進を図るため、各教育事務所に協力をいただき、プログラミング教材 (micro:bit) を整備しています。各教育事務所に 30 台ずつ整備しました (今年度新たに7台ずつ追加)。各学校における授業や研修会、市町村教育委員会が開催する研修会等で使用できます。

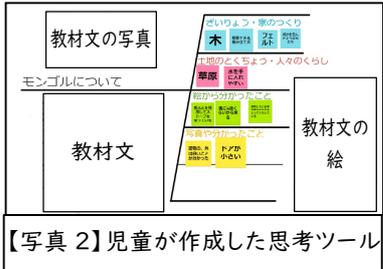
申請の流れ 貸出を希望する学校は、「学校→市町村教育委員会→教育事務所」の順番で申請します。市町村教育委員会に、学校名、担当者名、貸出希望日、返却予定日をお伝えください。



学校名	白石市立白川小学校	教科、領域	国語(小学校3年)
概要	<p>・主な学習活動 ○With タブレの活用 ★活動の留意点</p> <p>単元名「人をつつむ形ー世界の家めぐりー」(11時間扱い) 【単元を通して】 本単元は、世界の各地域の気候や土地の様子に応じて生活している様子と家のつくりの工夫を関連づけてまとめ、自分の考えを持つことがねらいである。児童は、筆者の見方や考え方を踏まえ、各地域に暮らす人々の様子を文章と写真や絵でまとめることを理解できた。単元の最後には、自分が興味のある地域の家の様子を調べ、スライドを作成することで、学習のまとめに取り組んだ。</p> <p>①課題の設定 ・単元のゴールを確認し、児童が学習計画を作成した。</p> <p>○「思考ツール」の「ステップチャート」のページを参考にした。学習の流れに合うように、教師が各ステップの項目を指定することで、学習計画の作成に取り組みやすくなった。【写真1】</p> <p>②情報の収集(教科書の読み取り) ・教材文の各地域の家の事例について、「土地の特徴・人々の暮らし」と「材料・家のつくり」等の視点を持たせ、「放牧をするから組み立て式の家」というように関連付けて考えさせた。 ・2つの事例は、クラス全体で視点を確認し、他の3つの事例は、自由進度で取り組んだ。</p> <p>○児童は「思考ツール」の「くま手チャート」を活用し、教材文と資料を円滑にまとめることができた。また、付箋の色と文章のサイドラインの色を視点ごとに合わせることで、内容を理解しやすくなった。【写真2】</p> <p>★自由進度内で、児童の進度の差が大きくなるないように、協働的に取り組ませたり、教師がファシリテートしたりした。</p> <p>③情報の収集(興味のある地域の家について) ・本やインターネットから興味がある地域の家について情報を収集した。</p> <p>④まとめ・表現 ・自分の興味のある地域の家について、スライドでまとめ、発表した。</p> <p>○まとめ・表現の「プレゼンテーションでまとめる」のページを参考にしながら、スライドを作成した。3年生の実態を踏まえ、スライドの枚数や項目は、教師が指定した。</p> <p>★スライド内の「土地の特徴・人々の暮らし」については、くま手チャートやサイドラインの色と同じ青色で表すなど、教科書の読み取りの視点と色を合わせることで、スライドのまとめを分かりやすくなった。</p>		
使用機材 ソフトウェア	Windows タブレット、電子黒板 アプリケーション・・・Jamboard、スライド		
県内の先生方へ	<p>この単元では、個々が学習を進める場面を多く取り入れることを意識して指導をしました。一斉指導では、学習計画の作り方や視点を持ってまとめる方法を、要点を絞って指導しました。自由進度学習の時間が多分、児童はWith タブレのページやページ内の動画を再度参考にしたり、動画を視聴したりする様子が多く見られました。また、自由進度学習の期間中には、家庭学習でくま手チャートを活用して付箋を作成する児童も見られ、家庭学習の改善にもつながりました。児童が自ら学習を進められる機会をできる限り増やしていくことで、児童が主体的に学習していけるのではないのでしょうか。</p>		



【写真1】児童が作成した学習計画



【写真2】児童が作成した思考ツール

編集後記	<p>Mナビ新聞ー情報教育通信ー第 24 号はいかがだったでしょうか。今回は、校務 DX チェックリストの結果や学習教材の貸出の情報をお伝えしました。Mナビ新聞では、皆様からのご意見・ご感想を募集しております。右記の二次元コードからフォームに記入していただくと幸いです。(第 24 号担当: 赤坂)</p>	
------	---	--